

■ なんでも相談窓口実施後の対応について

受付日 平成30年8月22日(水)
相談場所 面会室
相談受付者 飯干 逸雄 氏 ・ 瀬野 ちす 氏 ・ 岡田 眞喜子 氏
記録 浅川 眞里子

相談者 A氏(男性)

苦情内容

- * 入所前にクリーニング店に預けたジャンパーを取りに行きたい。

処理結果

- * 本人が預けたと言われるクリーニング店へ問い合わせをしたところ、保管している事が確認できた。
その旨を本人に伝え、翌日職員が代理で取りに行った。
本人に渡すと、とても喜ばれた。

相談者 B氏(男性)

苦情内容

- * 今度入院した時に、色々とメモしたいので、手帳とボールペンが欲しい。

処理結果

- * 早速購入して本人に渡すと、とても喜ばれた。

■ なんでも相談窓口実施後の対応について

受付日 平成31年2月14日（木）

相談場所 施設長室

相談受付者 飯干 逸雄 氏

記録 塗木 美弥

相談者 A氏（男性）

希望内容

① ひとり暮らしがしたい。

・家族が病気に対する理解がなく、アパートの保証人になってくれない。どうしたらよいか。

居宅訓練をしても、すみよしが保証人になってくれるわけではないので、退所してひとりで

生活したい。先が見えてこないと不安。

② 働く場を増やしてほしい。

・水産関係で働きたい。

処理結果

① 家族との関係修復にはじっくり時間をかけていくことが必要であり、焦ると逆効果になることを伝えた。引き続き施設職員や福祉事務所が関わり支援していく。

今後の自立支援を見据え、作業所を含め一般就労先も加えて検討していくことを伝え、本人の状況を考慮しながら支援していく。

受 付 日 平成 31 年 2 月 14 日 (木)

相 談 場 所 面会室

相 談 受 付 者 岡田 眞喜子 氏

記 録 浅川 眞里子

相談者 A氏 (女性)

希望内容

- ① 餅が食べたいので、工夫して出してほしい。
- ② なんでも相談が年二回しかないなので、それ以外で相談事があったらどこに相談すればよいのですか。

処理結果

- ① 食事に関しては、一人ひとりに合わせた形態で提供しており、安全面に考慮している旨を本人に伝え、嗜好品については外出時に自由に飲食してもらうことで、納得していただけるようにする。
- ② 福祉事務所や苦情解決担当者へ相談するよう伝えた。日頃から本人との関わりを密にし、都度解決できるよう支援していく。

受付日 平成31年2月14日(木)

相談場所 施設長室

相談受付者 飯干 逸雄 氏

記録 塗木 美弥

相談者 B氏(男性)

希望内容

- ③ 過去の仕事のことなど、笑顔で話された。
現在は作業にも参加しており、悩みや相談事は特にはない。

処理結果

引き続き、本人が安心して生活できるよう支援していく。

受付日 平成31年2月14日(木)

相談場所 面会室

相談受付者 岡田 眞喜子
記 録 浅川 眞里子

相談者 B氏（女性）

希望内容

- ① 薬の自己管理と就労はしたくない。
- ② ずっとすみよしで生活したい。

処理結果

- ① いずれも能力は高く可能であるが、本人の強い要望にて服薬は施設管理、就労についても作業所での就労から完全に退くことで納得された。
- ② この件については、入所時からの強い要望であるので、現在は施設内自立への支援をしている。